

夢を育む 学校

子どもたちの笑顔のために

関東学院小学校は、キリスト教にもとづく人間教育を理念とし、
校訓「人になれ 奉仕せよ」のもと3つの教育目標にむかってあゆんでいる「夢を育む学校」です――

この一文にこめられた小学校のすがたが、礼拝堂をつつむ祈りと賛美の歌声に、
教室にあふれる学びの熱意にあらわれています。子どもたちのほじける笑顔と、
それを見守りともにあゆむ教職員にも示されています。

コロナによって一変した学校生活にあっても創意工夫して教育活動を
継続し、学習、生活、行事、一つひとつ積みあげてきた関東学院小学校。

創立70周年を節目として、75周年へ、
そして100周年へのあゆみをすすめています。
すべては子どもたちの笑顔のために。



学校長 西崎一実



Children's Smiles

世界最大のタータンメーカーであるロキャロン社(Lochcarron of Scotland)がデザインした世界に一つだけのこのタータンチェックは、関東学院小学校だけが使用できるという認定(Tartan Certificate)をいただき、「Children's Smiles」と命名しました。プラスバンドのステージ用ベスト、聖歌隊が着用するガウン、周年記念グッズ、聖書カバーなど、さまざまなところに使われています。




「夢たまご」プログラム

関東学院小学校に通う子どもたちがさまざまな「ひと・もの・こと」に出会う得難い体験を通じて「夢のたまご」を見つけてほしい――そのきっかけとなるたとえば一流の芸術家や作家、専門家をお招きした演奏会や講演会、ふだんなかなか経験することのできないイベントを実施したり参加したりするプログラムです。写真は2023年2月に、バッハ・コレギウム・ジャパンによる創立70周年記念コンサートを開催した時のものです。



※掲載写真は新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで撮影しています。



校訓：「人になれ 奉仕せよ」

「人になれ 奉仕せよ」とは、1919年の中学関東学院第1回入学式において、初代学院長 坂田 祐が提唱したキリスト教に基づく本学院の教育理念を端的に言い表したものです。「キリスト教の教訓をもって人たるの人格をみがき、キリスト教の愛の精神をもって奉仕すること」を意味するこのスクールモットーは、以来、関東学院の歴史とともに継承されています。

一貫教育

1884年、横浜山手に創立された横浜バプテスト神学校が関東学院の起源です。以来、プロテスタントの代表的な教派のひとつであるアメリカ・バプテスト教会の教義・精神をバックボーンに、今日まで140年におよぶ歴史を刻んできました。「人になれ 奉仕せよ」の校訓のもとに、園児から大学生までがひとつのテーマについて継続的に考え、行動する校風から生まれる強い絆は、一貫教育によって作られています。



3 関東学院小学校の 3つの教育目標

- 1 「“人になれ 奉仕せよ”を体現する子」を育てる
- 2 「“夢を実現する学力”を身につけた子」を育てる
- 3 「自分で考え、判断し、行動しようとする子」を育てる

6年間の学習・生活を通じて、心の宝物をたくさん蓄え、夢を描いて実現する学力を身につけます。

1年生



はじめての体験

学校生活が始まったばかりの1年生。先生や上級生に見守られて、お友だちと一緒に新しいことやルールを覚えていきます。

2年生



世界がひろがる

学校生活に慣れてきて、少しずつ視野が広がる2年生は何事にも前向き。かけ算を一生懸命に覚えるなど学習基盤を築く時です。

3年生



まわりに目を配る

社会科見学がたくさんある3年生。身近な社会への探求心や好奇心を育みます。また、学習発表会では一緒に創造することを学びます。

4年生



一緒にやりとげる

クラス全員で練習を重ね、歌や演技を披露する最後の学習発表会。4年生はこの発表会を経て、新しい成長のステップへ進んでいきます。

5年生



自分をみつめる

羨望の眼差しを受けて務めるクリスマス礼拝の聖歌隊。高学年として過ごす学校生活と周囲の信頼を受けて5年生は成長します。

6年生



夢をつなげる

下級生のお世話や全校をリードする姿を見せる6年生。その姿は下級生に影響を与えています。卒業スピーチが6年間の集大成です。

学びの基礎

自己をコントロールする力、やりとげる力、ねばり強くいていねいに取り組む力、がまんする力、コミュニケーション力、やる気や意欲、支えあう力など学力の伸長につながるさまざまな要素を、低学年のうちから育みます。

生活習慣

早起きする・朝食を食べる、自分のことを自分で行う、時間を守る、あいさつや返事をする、整理整頓・かたづけをする、時間割を見て授業の準備をする、一定の時間机に向かうなど、基本的な生活の習慣を、ご家庭と協力してしっかりと身につけます。

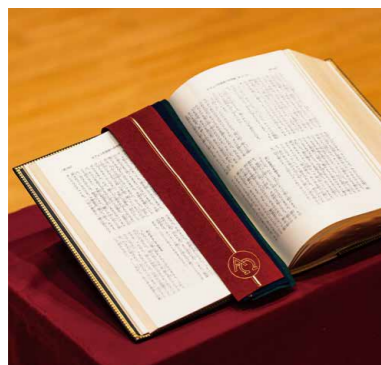
学習習慣

低学年のうちに身につけた「学びの基礎」となる力や「生活習慣」を土台に、中学年から高学年にかけて、目標を持って計画的・継続的に宿題や課題に取り組む習慣をつけ、確かな学力を養います。

愛情に満ちた学習環境はここから始まる

キリスト教教育

Christianity Education



朝の光の中で、心を穏やかに整え謙虚に自分を見つめ直す。
関東学院小学校の子どもたちは、この厳かな礼拝から一日を始めます。
キリスト教を土台にした本校の教育は人間の本質にふれ、真の人間を育みます。
「人になれ 奉仕せよ」
この校訓にある“建学の精神”を学びながら、
世界の平和と幸福に貢献できる人間へと導いていきます。



礼拝

関東学院小学校は、聖書と礼拝を重んじ、低学年・高学年礼拝、イエス・キリストを土台とした教育を行っています。1年を通じて、全校礼拝や低学年・高学年礼拝、クラス礼拝、イースターやクリスマスなどの礼拝を守っています。子どもたちは、神さまに仕え、人に仕え、世に仕える人として、平和で幸福な社会をみずからの手でつくり出す力を身につけていきます。



聖書の授業

1年生から6年生まで、週1時間ずつ聖書科の授業を行っています。1年生は、お祈りや神さまを知ることから学びます。2年生からは、生活の中の出来事と聖書のことばを結び付けて考えながら読むことを学んでいます。学年に応じて、新約聖書と旧約聖書を学びます。授業や礼拝から神さまの教えを学び、日々の生活の中で生かしていく心を育みます。



SG(サービスグループ)の活動

関東学院小学校には草創期よりSGと呼ばれる組織があり「一日奉仕活動を進んで行く」という活動を毎日行っています。これは校訓「人になれ 奉仕せよ」を行動によって学ぶ大切なものです。SGの活動を通して子どもたちは、自分のことだけでなく、みんなのためになることを自分で見つけ、力を尽くす喜びを覚えます。惜しみなく積極的に奉仕するという心を育みます。



SGの誓いの言葉

「私たちは、今日一日サービスグループの仕事を、誇りを持って果たします。これをみんなの前で約束します。」
SGの活動は、SGの誓いの言葉からはじまります。朝の会、低学年・高学年礼拝・全校礼拝で一日を通して奉仕することをみんなの前で誓います。

奉仕活動

- ルワンダ支援 ●チャイルドファンドジャパン支援(フィリピンの里子支援) ●福島幼稚園支援
- 友を知る礼拝での交流(横浜訓盲学院、寿地区センター、日本キリスト教協議会、マイノリティ宣教センターなど)

一冊の出会いが一生の友になる

ほんの学校 *Favorit Books*



友となる一冊が、自分を刺激し、自分らしさをつくり、想像力のつばさを手に入れ、世界を駆けめぐり、時空を超えて羽ばたく。

本がもたらすチカラは無限です。

関東学院小学校は、創立以来、本と触れ合う時間を大切にしています。



朝の読書

本の世界に入り、想像のつばさを広げる時間。知らないことを知る、知的好奇心が満たされる時間。子どもたちは読む本を自分で選び、読書習慣を自然に身につけていきます。導入してから30年、朝読書は学校生活にしっかりと根づいています。



お話し会(にじの会・ももの会・子ども博物館)

月に一度、礼拝堂で開かれる「お話し会」。1・2年生は「にじの会」、3・4年生は「ももの会」と呼び、先生がお話を覚えて語ります。子どもたちは主人公といっしょにお話の世界を楽しみ、豊かな心、創造性、そして読書へ導きます。また「子ども博物館」は、ノンフィクションの分野から、先生が得意なテーマについて話します。科学のふしぎ、芸術のゆたかさ、社会のしくみなど、子どもの興味、関心を広げます。



作家を招いた講演会

子どもの本の作家を招いて講演会を行います。物語が誕生するいきさつや、物語を通して作者が伝えたかったことなど、直接お話を聞くことができます。子どもたちは講演会までに課題図書を読み終えているので、作家に聞きたいこともたくさんあります。齊藤惇夫さん、角野栄子さん、杉山亮さん、富安陽子さん、岡田淳さん、齊藤洋さん、松岡享子さん、吉野万理子さん、村上雅郁さん、あさのあつこさん、いとうみくさん…読書の楽しみが広がります。



ブックフェア

秋の2日間、教文館ナルニア国の協力でブックフェアを開催しています。おすすめの子供書が300冊近く展示され、手にとって見るができます。また、購入することもできます。



関東学院小学校の100冊

子どもたちに読んで欲しい本のリスト「関東学院小学校の100冊」を選定しています。その100冊を学年に応じて学級文庫に配架します。すぐに手にとって読めるようにしています。



読書ノート

子どもたちが読んだ本の記録を残すためのオリジナルのノートです。読書期間や感想などを記すことで、読書生活を深め豊かにします。

学ぶことがもっと楽しくなる

ICTを活用した教育

ICT Education



デジタル機器や情報ネットワークを使って授業を行うのはもちろん、1年生から6年生の全児童がひとり1台のタブレット端末を持ち、新しい文房具のひとつとして、さまざまな学習場面で活用しています。先生との双方向のコミュニケーションや、グループ単位の協働学習などを通して、楽しみながら意欲的に学習に取り組む姿勢と、これからの情報化社会で役立つ力を育てています。



ICTを生かした新しい学びの姿を

インタラクティブ・ホワイトボード、全館Wi-Fi、AppleTV、デジタル教科書など学習を支えるICT環境を整えています。テキストや動画、画像などの幅広い情報に触れられ、児童の能動的な学習をすすめています。また、ひとり1台持つタブレットは、探求・協働・共有するために活用され、ペーパーレス化も実現されています。



プログラミング的思考と情報活用能力の育成

低学年からScratchなどのビジュアル型プログラミング言語やLEGO®を用いて楽しみながらプログラミングの基礎を学びます。それらの学習を通して、創造の源となる思考力や、問題発見力・解決力を育むとともに、情報モラル教育にも取り組みながら、AI時代に輝ける人の育成を目指しています。



授業をアップグレードするMetaMoji Classroom

学習支援ツールとしてMetaMojiを導入し、魅力ある授業づくりに取り組んでいます。MetaMojiは、一人ひとりの学習状況をリアルタイムに把握できる学習支援アプリで、一斉学習・個別学習・グループ学習といった授業シーンに合わせてノートを作成できるほか、子どもたちの意見共有もスムーズに行うことができます。タブレットを家庭に持ち帰ることで、家庭との連絡ツールとしても活用しています。



感染症の対応として

GIGAスクール構想が打ち出される以前から、関東学院小学校ではタブレット端末の導入を進めてきました。新型コロナウイルス感染症拡大により、休校(自宅学習)になった時も、家庭でweb会議システムZOOMを利用して同時一斉双方向のリモート授業を行いました。今後も同じような状況になった時は、Metamoji Classroomを使い、自宅にいながらもグループ学習や宿題に取り組みます。

新たなステージでの英語学習を展開

英語教育

English Education



英語の技能を4つから5つへ。
関東学院小学校では、多様な背景を持つ人々とのコミュニケーションがとれることを重視し、「話す」技能に「対話（会話）」の技能を加えました。英語を言語教育の一環として捉え直し、母国語である日本語との関わりを考えながら、「グローバル社会の中で、互いに理解し合い、自己を表現できる子ども」を育むための英語教育を実践しています。



1年生からスタートする英語教育

日本人と外国人の教員によるチームティーチングを採用しています。低学年では「聞く・話す」を中心に、中学年からは「書く・読む」も取り入れて学習します。1・2年生では、単語やフレーズをシャワーのように聞くことで英語に慣れ親しみ、3・4年生では、フォニックス学習法により発音と文字のつづりの関係をおぼえ、5・6年生では、基本的な対話フレーズを中心に英語を学ぶ楽しさを体験的に味わえるようにしています。



ベルリッツ・メソッドで対話力をアップ

5・6年生は、週2時間のうちの1時間をベルリッツとの提携による英会話レッスンに充てています。1クラスを3つに分け、12人の少人数で実施しているため、児童一人ひとりの表情や反応を見ながらフレンドリーに授業を進められます。もちろん授業中はオールイングリッシュですが、さまざまなシチュエーションを想定した会話やゲームなどを楽しみながら、語彙力を高め、コミュニケーション力を育みます。



TGGでの英語体験

TOKYO GLOBAL GATEWAY(TGG)は、2018年に東京・青海にオープンした革新的な体験型英語学習施設で、関東学院小学校では5・6年生が校外学習活動の一環として訪れます。ホテルやエアポートなどを再現した空間で日常会話に挑戦するほか、創作ダンスや橋の設計、動画の作成やサバイバル対策などのセッションを英語で体験。子どもたちからは「英語が通じて感激した」「英語がもっと好きになった」という声があがっています。



イングリッシュキャンプ ～言葉でつながる体験～

5・6年生の有志が夏休みに参加するイングリッシュキャンプでは、英語漬けの2日間を過ごします。初日は児童5人に1人の外国人講師と、2日目は世界各地から来日している留学生を招いて5人に2人のネイティブの講師といっしょに活動します。「理解できた」「伝えられた」という英語によるコミュニケーションの成功体験を積み重ねられるだけでなく、世界に目を広げ、言葉で世界がつながることを肌で感じるすることができます。

Children's Smiles

子どもたちは毎日をとびきりの“笑顔”で過ごします。



ここに掲載されている写真は、先生たちが撮影したものです。ホームページではたくさんの子どもの笑顔を見ることができます。ぜひご覧になってください。



Teacher's Smiles

先生たちは“笑顔”で子どもたちの成長を見守ります。



質の高い学力を身につける

総合的な学力形成

いきいきと学ぶ子どもたちを、独自の教育カリキュラムで成長へと導く。

基礎学力の向上から応用まで、自ら取り組む意欲を育み、
毎日の成長を実感できるよう、一人ひとりの能力を最大限に引き出します。



週時間数(2024年度)

	月	火	水	木	金	計
朝	礼拝・体操・読書・学習					
1年生	5	5	5	5	5	25
2年生	5	6	5	5	5	26
3年生	6	6	6	5	6	29
4年生	6	6	6	6	6	30
5年生	6	6	6	6	6	30
6年生	6	6	6	6	6	30

- 標準よりも多く時間数をとり、教科の充実をはかるとともに、社会科見学、体験授業、出前授業など本物に出会う学習にも力を入れています。
- 1~4年生は週1時間、5・6年生は週2時間、英語のネイティブスピーカーによる授業を行っています。
- 4~6年生は木曜日6時間目にクラブ活動(ぶどうの木)を行っています。
- 放課後は曜日を決めて補習を行っています。

+算数の授業

基礎学力をつける計算テストや、次学年につなげるステップテストを行っています。また、発展的な課題を解決できるよう独自の学習プログラムを組んでいます。4~6年生は複数教員が担当し、中学入試レベルまで学力を向上できるよう、きめ細かな指導をしています。

+国語の授業

全ての学びの基盤となる「ことばの力」を身につけ、豊かな人間性を育むための工夫をしています。ことばに立ち止まって読み深め、自分の考えを表現できることを大切にしています。また、基礎学力定着の一環として、年2回の漢字検定に挑戦しています。

+社会の授業

「つながる学び」をテーマに、他者や地域社会との関わりやつながりを知り、未来へとつなげて考える力を身につけます。4年生は地域、5年生は日本や海外の国、6年生は過去や未来とのつながりを考え、気づきや問いを出し合い、課題を発見し、発表します。

+理科の授業

基礎的な知識を十分に身に付ける授業に加えて、よく見て考える力を伸ばします。1つの事象に立ち止まり、なぜそうなるのか予想して仮説を立て、話し合い、実際に確かめます。自然の神秘や法則を実感をもって理解できる。そんな心を動かす授業がテーマです。



学力向上のための取り組み

総合学力調査

学力を客観的に把握できる調査問題により学習内容の到達の度合いを毎年確認することで、意識調査とあわせて個人の成果と課題が分析できます。結果資料は個人面談で共有し、ふりかえりの学習と家庭でのケアに役立ちます。

漢字検定

漢字の読み書き能力をはかるために、当該学年に応じた級の取得をすすめています。4月の進級時には、前の学年の学習を終えていることが確認できるようになっています。1年生の学習内容に相当する10級に始まり、最終的には6年生で全員が5級以上の取得を目指します。

全校一斉の計算・漢字テスト、漢字検定を学期の節目に行い、学力向上をはかっています。4年生以上は学期ごとの復習として学力テストを実施。また、指導資料として、総合学力調査を導入しています。放課後・夏冬期休みの講習も行います。

すごい!わかった!できた!やった! -児童の声-

お祈りをするだけで世界を知る機会に

毎週金曜日の全校礼拝での司会とお祈りと、その準備を私たちが担当します。お祈りでは、日本中、世界中で起きているいろいろなことに触れるので、世界のことや、困っている人たちがいることを知る機会になります。この学校に入って奉仕の意味がわかったような気がします。



6年生 菊池 安菜さん

エコで便利なICTで人の役に立ちたい

プリントを使わずに勉強やクイズゲームができ、データで保存できるICT技術は無駄がなくてエコだと思います。ICT委員長として、学校で使うタブレットを便利に安全に使えるように、みんなにルールを伝えています。将来はICTを使って人の役に立つような仕事をしたいです。



6年生 青木 悠人くん

ライブラリーで本の世界にぐんぐん引き込まれていく

僕は歴史が好きで、歴史を調べうちに本が好きになりました。ライブラリーでは歴史書と物語をよく借ります。小学校の6年間でライブラリーの本だけで300冊くらい読みました。家で読む本も合わせると400冊くらい。作者の考えを知ることができるのも本のおもしろいところです。



6年生 神田 博明くん

打楽器の魅力に惹かれドラムが大好きに

楽器のことはよくわかりませんでした。友だちに誘われてバンドに入りました。入ってみて興味を持ったのは、叩くだけで音が出る打楽器。ドラム担当になり、どんどん打楽器の魅力にはまっていきました。リズムがしっかりとれて、みんなの息が合うと最高に気持ちいいです!



6年生 滝本 梨央さん

夢たまごを見つける

さまざまな「なぜ?」を考える 哲学の授業

4~6年生対象の授業です。哲学は、問題が何であるかをまず考えます。そこから、テーマを決めてグループで自由に意見を出し合います。自分で考え、他人の意見を聞くことで、ものごとを深く考え、多面的にもものを見る目が育っていきます。



本物との出会いがある “夢たまご”とうふ作り

3年生が理科の授業で蒔いた大豆の種。秋に、大豆として収穫しました。国語で「すがたをかえる大豆」を学習すると「作った大豆、食べてみたい!」の声。山形から「いとうファーム」の方をお招きし、豆腐作りが実現しました。大豆1粒の大切さから、「命の授業」へとつながりました。



リアルな体験に感動 “夢たまご”プラネタリウム

4年生の出前授業では、プラネタリウムワークスによる「プラネタリウム」を体験しました。体育館でドームを膨らませ、星や月の観察をしました。星の動き、北極星の見つけ方についてプラネタリウムの中で学習をしました。実際の天体を目にするような経験をいかして、理科の「月の満ち欠け」の学習に入りました。



笑顔があふれる、笑顔がうまれる、大きな安心に包まれた学校生活

年間スケジュール *One Year*



4月

- 入学式
- 1学期始業式
- 交通安全教室(1年生)
- イースター礼拝
- 春の遠足

5月

- 全校一斉
計算テスト
- 授業参観

6月

- 春のなかよし会
- ペンテコステ礼拝
- 水泳指導
- 花の日礼拝
- みどりの学校

7月

- みどりの学校
- 1学期終業式
- 夏期講習
(5・6年生)
- イングリッシュキャンプ

8月

- 夏休み

9月

- 2学期始業式
- 神小小音楽会

10月

- 創立記念礼拝
- 創立記念日
- 神小小陸上記録会
- オリブ祭

11月

- 秋のなかよし会
- ブックフェア
- 授業参観
- 全校一斉
漢字計算テスト
- 収穫感謝礼拝
- アドベント礼拝

12月

- 関東学院
クリスマスコンサート
- クリスマス礼拝
- 冬期講習(6年生)
- 2学期終業式

1月

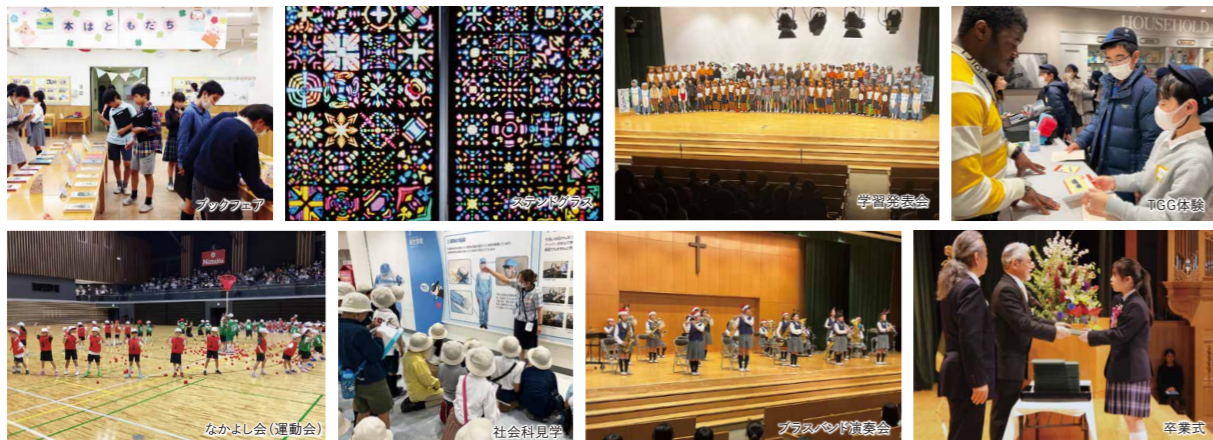
- 3学期始業式
- 授業参観
(1～5年生)

2月

- 学習発表会
(1～4年生)
- TGG体験(5・6年生)
- 神小小児童造形展

3月

- 授業参観(6年生)
- 6年生を送る会
- 卒業礼拝
- 卒業式
- 修了式



充実した毎日が、よりよい明日の自分をつくります

一日の流れ *One Day*



～8:15 登校



8:20 朝の読書・礼拝・学習



8:55 午前の授業 SG 休み時間中に奉仕活動



12:25 ランチ



～13:15 昼休み



13:20 午後の授業



14:20 下校(1・2年生)



14:30 ぶどうの木子供会



安心できる学校生活

大規模災害発生時の対応

学校の施設は、耐震改修促進法に基づき、2011年に耐震検査を行い、国の指定する耐震基準を上回ることが確認されています。また、2014年9月竣工の新校舎には防災・避難拠点としての機能が集約されています。新耐震基準で設計された頑丈な建物が子どもたちの安全を確保します。非常用電源、自家発電設備も導入し、万が一の帰宅困難な状況に備え、全児童分の非常用食品・飲料水等を常に備蓄し、緊急時の対応が可能となっています。

登下校安全管理システム

子どもたちの安全と保護者の安心のために、「登下校安全管理システム」を導入しています。カードをセンサーにタッチすることで、児童の登下校をご家庭に電子メールでお知らせします。また休校や災害時のお知らせなど、小学校からの緊急連絡なども電子メールで配信しています。



スクールランチ

心とカラダの元気づくり

「美味しく、安全安心な温かい食事」をコンセプトに、週2回のスクールランチを実施しています。実施日以外でも、個別注文もできます。特別ランチには、駅弁やボンパドルのパン、助六弁当などさまざまなランチを楽しんでいただいています。



いつ来ても新しい、来るたびに好きになる

学校施設 Facility

パイプオルガン

礼拝堂に設置されているオルガンは、パイプ937本、21ストップ(実働17)、手鍵盤2段と足鍵盤を有する本格的な仕様です。世界でただひとつ、ここにしかないオルガンの音色で、神さまを賛美する歌声を支えます。



礼拝堂

祈りの時間を包み、豊かな心を育みます。木を基調としたシンプルなデザインで約600人が収容可能。



遊具

クライミング機能をふんだんに取り入れるなどオリジナル設計の大型遊具は休み時間に大人気です。



ライブラリー

2022年7月にリノベーションしたライブラリーは、木のぬくもりを感じられます。



音楽室

2023年7月にリノベーションしました。1人に1台譜面台があり、一斉授業やグループワークにも対応できます。



毎年イノベーション

例えば子ども哲学(2013)やベルリッツ・メソッド(2018)の導入、ひとり1台のタブレット端末(iPad)配置(2020)など教育内容にかかわることから、パイプオルガン設置(2016)、大型遊具設置(2018)、年次進行による校舎改修(2017~)などのような大がかりなものまで、子どもたちにも保護者の方々にも、訪れるたびにサプライズがある学校づくりで「驚き」と「楽しさ」をお届けしています。創立70周年には、みなとみらいホールでコンサートを開催しました。2023年には、体操服とランドセル、制帽をリニューアルし、お気に入りを選べるようになりました。

つながる、ひろがる、さまざまな活動

生涯の絆 Lifelong Bond

オリブの会

父母会は「オリブの会」と称しています。児童向けの文化祭「オリブ祭」の主催をはじめ、企画品の販売、おやじの会コヘレトのSG清掃活動、児童の登下校「みまもり」などを行っています。



オリブ祭

たんぼぼの会

たんぼぼの会は、三春台の丘からたんぼぼの綿毛が飛び立ち、それぞれの地に根ざし活躍することを願って名付けられた同窓会です。4,400名を越す会員のみなさんが、なかよし会やオリブ祭などの学校行事に協力しています。



たんぼぼの会入会式

オールKANTO

学院の園児・児童・生徒・学生が一堂に会したクリスマスコンサートを横浜みなとみらいホールで開催。ふだん体験することのできないような催しが学院全体の取り組みで実現します。



クリスマスコンサート

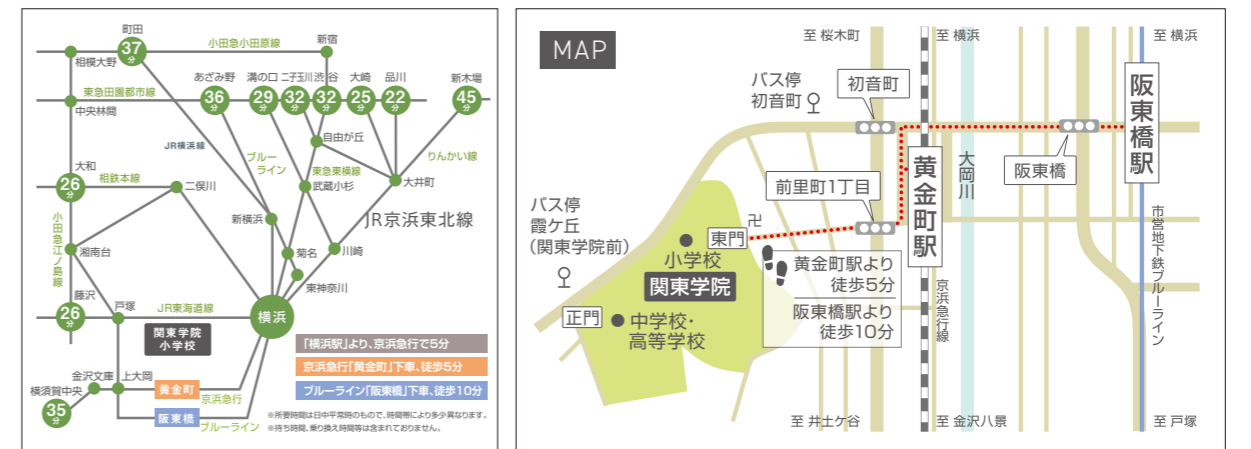
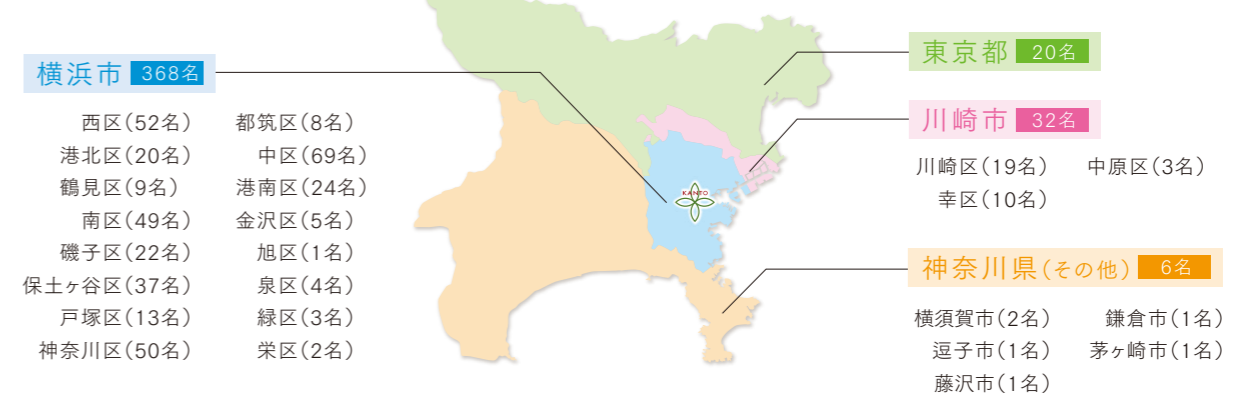
三春台倶楽部 三春台倶楽部は、関東学院小・中・高を応援して下さる個人・団体が構成されている組織で、学校の教育活動を幅広く支援しています。

関東学院小学校 学校説明会のご案内(要事前申込み)

- > 第2回学校説明会……………5/22(水) 10:00 説明会と授業見学・個別相談を行います。**[願書配布開始]**
- > 小学校体験(年長児対象)……………6/8(土) 1回目8:50/2回目10:40 小学校の授業体験ができるプログラムです。
- > イブニングKANTO……………7/26(金) 18:30~ 夕方から説明会を行います。
- > B試験むけ学校説明会……………10/25(金) 9:00~ B試験を受験される方を対象に説明会・見学・個別相談を行います。

※入学選考は(A試験)10/22(火)、(B試験)11/16(土)に実施します。学校説明会の詳細、申込み、変更等については、ホームページでご確認ください。

通学地域一覧 2023年度



京浜急行線「黄金町」駅 徒歩約5分・市営地下鉄ブルーライン「阪東橋」駅 徒歩約10分
市営バス(68系統・102系統・32系統)「霞ヶ丘」下車 徒歩約3分

この印刷物は環境に配慮した植物油インキを使用しています。

関東学院小学校

〒232-0002 横浜市南区三春台四番地 *お車でのご来校はご遠慮ください。

お問い合わせは Phone. 045-241-2634
Fax. 045-243-3545

関東学院小学校 検索
https://es.kanto-gakuin.ac.jp/

LINE公式アカウント
サイト更新情報が届きます